

☺ KIDS センター Cafe ☺

大人の本棚
オススメの絵本紹介

No. 78
2023. 5

「みんなちがってみんないい!!」

「多様性も認め合うことの大切さ」—— 最近このような言葉をよく耳にするようになってきました。お互いを認め合うって、簡単なようで、難しかったり、難しく考えていたら実はとても単純なことだったり...

そこで今回は「みんなちがってみんないい」をテーマに絵本を選びました。カフェコーナー「大人の本棚」に並んだ絵本の中から二冊ご紹介します。



「みんなちがってみんないい!!」

・ヨシタケ シンスケ さく
・伊藤 亜紗 ぞうたん
「アリス館」出版

さすが ヨシタケさん!!
「自分とこの人は違うな けれど、この人は違うけれど よくみるとこの人は同じだね」など、いろいろな面がみえてくる。

「違うことはいけないこと」ではなく、
「違う → おもしろい」になれたら すごく楽しい!!

とにかく一度読んでみて下さい。(私は本屋さんで思わずふざけてしまいました笑)

ふたりママの家で



・パトリシア・ポラッコ え・文
・中川 亜紀子 訳
「ガザンブックス社」出版

「ふたりママの家で」

訳者のあしがきから一部 紹介します。
遠い国から 養子に迎えられた女の子が愛情のこぼれに自分を育ててくれたふたりのママと、同じように養子に迎えられた弟と妹との思い出を語る あたしがい 物語です。

特別な出来事はありません。ただ みんなで 食事をつくらって、食べて、歌って、踊って、笑って、しゃべって... という家族の日常が描かれているだけ。
なぜなら「ふたりのママの家」は、他と愛わらない家族の家だから。お父さんとお母さんがいて、ふたりの間に生まれた子どもがいるそんな「典型的な家族」とは「ちがい」があってもそれは「ちがいない」じゃない。——これが作者のメッセージです。